

福島南ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (バリー・ラシン)

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝
目標「例会を楽しもう」

会員/74名 出席/42名 出席率/56.76%

メークアップ/32名 修正/74名 修正後率/100%

会長挨拶 吉田 和義 会長



故富田健三郎バスト会長の葬儀、(有)東北自動車ガラス・富田家の合同葬として11月3日通夜、11月4日告別式が執り行われました。生前の富田会長の人柄を彷彿させるような素晴らしい葬儀でした。大橋廣治PGには葬儀委員長としてご自分の愛弟子をお送りし、告別式の最後には心温まるご挨拶を頂きました。本当にご苦労様でした。

富田会員が逝去されて以来、ご家族に寄り添ってお世話いただいた菅原節子会員、葬儀全般にお手伝い頂いた一條幹事・鈴木恵美子会員、祭壇に添えられたリトルリーグ「大声杯」の優勝トロフィーを山形マリナーズより借り受け、そして返却に尽力された渡辺雅浩会員、ありがとうございました。株たまのやの安齋紀之会員には葬儀全般にわたり特段の配慮を頂き感謝申し上げます。鈴木恒昭会員には通夜振る舞いの席で故富田会員のロータリー交友録を讀って頂きました。廣澤俊樹会員には告別式の直前で故富田会員がしてかした数々のエピソードを披露して頂き、葬儀参列された皆様と心温まるお別れの時間を過ごすことが出来ました。

喪主富田英樹様、奥様の敏子様そして親族の皆様よりロータリークラブへの感謝の言葉を賜りましたこと皆様にご報告申し上げます。

さて今月はロータリー財団月間となっております。先月は「世界ポリオデー」にて皆様より多くの支援を頂き感謝申し上げます。ともに、引き続きロータリー財団年次基金へのご協力を宜しくお願い致します。

最後に今月23日・24日地区大会が開催されます。年々参加者は30名前後と低調です。全員登録となり再度皆様に参加要請をいたします。

私は忘れもしません、2010-2011年度の地区大会、開会点鐘時のハッピーング。面白いこと、楽しいことがたくさんありました。皆さん地区大会に出席して他クラブとの交流を深め親睦の輪を広げてみようではありませんか。同時に地区青少年奉仕委員会主催「第1回青少年会議」が開催されます。福島成蹊高等学校 IACより顧問1名部員4名が参加予定です。

テーマは「信頼と友情の握手をしよう」となっております。成蹊高等学校 IACクラブに負けない様、地区活動への積極的参加を皆様にお願ひします。

ロータリーの友読みどころ

クラブ広報・雑誌委員会 亀井 淳 委員



横書き18P ポリオ撲滅推進活動30周年で撲滅までのガイドが紹介されております。ポリオウィルスが感染するのは人だけで主に5歳以下の子供が罹患する。ポリオの治療方法は無く、予防接種が行き渡れば撲滅に繋がる。ロータリーでは39カ国、4億3千万人の子供たちを対象にポリオ予防接種キャンペーンを実施した記事です。

横書き28P ロータリアンに学ぶ奉仕の心インターアクトについて、11月5日を含む1週間は世界インターアクトの習慣である。インターアクトクラブは12歳から18歳の中高生が地元ボランティア活動を通してリーダーシップを学ぶロータリーのプログラム上段には大分舞鶴高校が卒業した学生の体育館シューズを洗ってタイに送っている、素晴らしい記事です。

横書き27P 福島県いわき平東RCが国内では盲導犬が必要な視覚障害者が大勢居るが供給が追いついていないようだ。盲導犬を取巻く現状と盲導犬の動きなどを学んだ、今後とも活動を継続するそうです。

創立50周年記念式典・祝賀会実行委員会報告

菅原 節子 実行委員長



創立50周年記念式典・祝賀会実行委員会の取組みについてご報告いたします。9月から記念事業委員会と記念誌・記録委員会は月1回の打合せを行っております。今年度は10回に亘り開催する予定です。総務委員会も年度内3回打合せ会を開催する予定です。

記念事業委員会は本日例会の後、第3回目を開催いたしますが、50周年にはどのような記念事業がふさわしいのか？また、大型講演会などの希望が出ておりますので、色々話し合っております。また、記念誌・記録委員会では、役割の分担を決めて進めている所です。12月5日の例会でクラブフォーラムを戦略計画委員会と50周年の実行委員会と合同で開催する予定となっております。会員お一人お一人の皆様のご希望や色々なご提案を具体的にお聞きいたしまして、進めて生きたいと思っております。記念すべき創立50周年のお祝い会に御座いますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

ゲスト挨拶 東京江北ロータリークラブ 土屋 武司 様



東京 23 区の北東部、足立区それから葛飾区の一部がエリアとなっております。東京江北RCから参りました、土屋と申します。本日は是非よろしくお願ひいたします。

今回福島に来ているのは、会社が足立成和信用金庫と言う、福島信用金庫さんと同じ信用金庫でございます。そこで年金旅行と申しまして、年金を受給されているお客様をお連れする旅行を年1回実施しており、今回で29回目になりますが、今年は福島信用金庫さん、穴原温泉の吉川屋さんにお世話になり、約6百数十名をお連れして来ているところで御座います。

福島の皆様には手厚い歓迎を受けておまして、非常に感激をしているところで御座います。本日1日 是非皆様には、よろしくお願ひ致します。

猪苗代湖漂着水草除去回収作業報告・第21回リトルリーグ大声杯野球大会報告 社会奉仕委員会 菊地 和宏 委員長



猪苗代湖漂着水草除去回収作業報告

去る10月21日(日)猪苗代湖漂着水草除去回収奉仕作業を行って参りました。当クラブからは12名、成蹊高校からはIAC引率教員2名を入れて25名の合計37名の参加でした。今回は、個人で行く方と分乗で行く方に分かれ、朝8時、南福島保育園から相乗りで、菅野和江会員のご主人運転のワゴン車と私の車の二台で向かいました。

途中115号線は紅葉も始まっており、晴天の中、絶好の奉仕日和となりました。作業前に主催の猪苗代RCから、水質日本一復活をめざして活動している旨の説明があり、今年は松橋浜で作業を行いました。

湖の岸边に横一列に並び一斉に作業が始まりました。約1時間半程の作業ですが、他の団体や個人参加等88名で作業を行うと、あっという間にきれいになりました。人海作戦はすごいのだと改めて感じました。

その後、リステル猪苗代にて当クラブ会員とIAC会員一緒にバイキングの昼食を楽しみました。できるだけ交流を図ろうと、生徒さんの中に会員が入る形をとりました。最後に数名のIACから奉仕作業の感想をお話頂きました。今回は、2年生で全員初めての参加でした。自分が奉仕作業に参加することで少しはお役に立てたのかと思ったり、作業後の美味しいバイキングで親睦を図ったりと奉仕と友愛の雰囲気を楽しんでいたようでした。又、RC会員からも感想を述べて頂き、いい雰囲気になりました。特に丹治洋子会員、矢野清和会員らは、突然振ったにも関わらず、以前から準備していたかのごとく、和やかなスピーチをして頂き、さすがはロータリアンだと、感心した次第であります。

最後にその場を解散しようとした時、ある会員から、ロータリアンとは、帰るとき綺麗にしなければならぬ、このまま帰るのはいかげなものか？とご指導を頂き、参加者全員でテーブルの上を整理整頓して解散しました。最初と最後に品と格が表れるのだと、改めて教えられた奉仕作業でもありました。皆様のご協力ありがとうございました。秋のひと時、磐梯山もくっきりと見え、ロータリアンの仲間達との楽しいひと時を過ごすことができました。ロータリー奉仕活動は参加することに意義があるのだと再認識した次第であります。

第21回リトルリーグ大声杯野球大会報告

去る10月28日(日) 第21回大声杯リトルリーグ野球大会が、あづま球場と荒川グランドにおいて開催されました。主催は当クラブ、共催及び主管は福島リトルリーグ野球協会でした。当クラブより会員24名、成蹊高校IACから教員1名生徒3名、県内外から6リーグの参加で行われました。選手及び会員の皆様には早朝8時前に集合頂き、開会式は、IACの生徒の先導で入場行進が始まり、吉田会長の挨拶、始球式と続き、A：あづま球場とB：荒川グランドに分かれ、それぞれ3リーグの熱い戦いとなりました。試合結果はなんと全てのチームが一勝一敗となりました。勝敗は失点率という方法で行われ、Aブロックは山形マリナーズ、Bブロックは石川郡山連合リーグの優勝となりました。総合優勝は山形マリナーズに決まりました。開会式では第20回大会に当クラブから贈呈された優勝カップが手渡されました。小さな子供達が、頑張った証に賞を頂く時の嬉しそうな顔がとても可愛らしく印象的でした。

今回は、各チームに会員の皆様数名ずつ貼りつけて頂き、チームの応援や交流を図ったり、表彰する際の細かい行動まで観察するなど、会員の皆様には、終日大変お世話になりました。又、この大会を開催するに当たり、福島リトルリーグ副会長、野澤様、そして当クラブ渡辺雅浩会員、高橋正一会員には水面下で大変お世話になりました。本大会が成功裡に終了できたことに感謝申し上げます。

改めてこの大声杯を作り上げた福島リトルリーグ会長で当クラブバスト会長であった富田健三郎さんが、毎回自ら大声で大会の挨拶をしていた姿が目につきました。今までの活動を通し、子供達に対する熱い思いを偲び、改めて感謝と敬意と哀悼の意を表するものであります。

本人に大会前の挨拶はできましたが、大会後の報告はできずに終わってしまったことがとても残念です。今後、この大会を続けていくことが繋げていくことが、富田さんへの供養でもあり、我々福島南ロータリークラブの使命であると自覚した次第であります。

子供達が笑顔で帰る姿を見るにつけ、富田さんが20年もの間、大会を続けてきた意味が少し理解できたように思います。

会員スピーチ 安齋 克 会員



今日は自身の身近な稼業であります、建設業のお話をさせていただきます。時はさかのぼりますが30年程前 私の会社の所属する福島県建設業協会東北支部の会員は76社あり、そのうち土木関連を主とする会員が40社、建築を主とする会員が36社でした。 当時は福島支部と言いつても福島市に本社が支社がある会員で構成されておりました。10年ほど前に福島支部から東北支部となり伊達支部と二本松支部の会員の一部を増員して会員は35社となり、そのうち土木関連仕事を主とする会員が22社、建築を主とする会員が13社となりました。会員が20年の歳月をかけて半分以下となってしまうました。

高度成長期までは、社会資本の充実に向け、建設業が活発に動きましたが、その後、不況による氷河期が長かったこと等が会員の減少につながりました。時代とともに建設業も変化しています。 私が7歳の頃から25歳頃まで、当社には、中学校を卒業して就職し、働きながら夜間高校へ行く住み込みの若者が居ました。その後、高等学校卒業は当たり前にするような社会環境となり、住み込みの若者は自然消滅していきました。

その頃から建設業は、『3K』いわゆる『きつい』『汚い』『危険』な仕事。の一つと言われ、労働条件が悪く嫌われる仕事になりました。3Kの言葉から、しばらくしてイメージアップ作戦という話が建設業に出てきました。10年間ほど小学生に建設業に関するポスターコンクールを実施していました。その後、会員企業も減少し現在に至っています。

さて、福島県建設業協会は、今年度創立70周年を迎えました。東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の復旧、復興工事が、ほぼ完了の見通しとなることを受け、仕事量の減少、少子高齢化に伴う人口減少や、建設業の担い手不足等、将来に向けた会員企業の維持等に、指針として3つのキーワード、『築く』、『守る』、『描く』を掲げ地域建設業の使命を果たすべく活動していこうとしています。

その内容は、『築く』として、技術力と経営力の強化に努めるとともに、担い手の確保、育成、処遇改善に取り組む。

『守る』として、今後増大する社会資本の維持管理、更新等の再構築に対応し、地域の安心、安全を守る危機管理産業として社会的な責務を果たしたい。

『描く』として、地域の歴史や、伝統文化を尊重し、地域の社会、経済に貢献し、魅力と誇りある福島の創造に参画していきます。

このような3つのキーワードをもとに行動を通して信頼される建設業を目指していきましょう。というのが建設業の今後10年間の活動方針です。私も同じベクトルを維持して、個性豊かにいきたいと考えています。

建設業とはまったく関連しませんが、昨年報道であります、耐震や免震用の油圧ダンパーの数値の改ざん問題。自動車の出荷時検査不正など世の中は、不適切行為が多くなっています。その様な中、私の経営の指針としている言葉があります。

ドイツの電装機器ブランドメーカーポッシュの創業者、ロバート・ポッシュさんが引退の時に会社に残した言葉です。

『信頼を失うくらいなら、むしろお金を失った方がよい。』であります。

ロバート・ポッシュさんは、自分が約束したことを守ること、製品の価値によって得た信用そして信義を守るという私の言葉に対する信頼は、私にとって目先の利益よりも、常に優先されるべきものです。と経営哲学として後世に残しています。

私も経営者の一人として、このロバート・ポッシュさんの言葉を、頭において仕事に取り組んでいます。

そして、ロータリアンとして、自分の稼業であります建設業を通して社会奉仕をしていきたいと思っております。

第2回インターアクトクラブ連絡協議会報告 青少年奉仕委員会 海老根 潤 委員長

平成30年10月26日(金)須賀川アリーナ会議室におきまして、平成30年度 第2回インターアクトクラブ連絡協議会が行われました。当日は、吉田会長、海老根、福島成蹊高校IAC顧問 菅野智浩先生の3名で出席して参りました。

1) 新設IACの紹介

福島県立猪苗代高等学校(猪苗代RC)

相馬農業高校も今後IAC設立に向け協議会に出席しております。

2) 行事報告

リーダー研修会6月5日(火)担当:会津農林高等学校

研修会報告と決算報告

年次大会8月2日(木)~3日(金)担当:岩瀬農業高等学校

大会報告と決算報告

3) 行事計画

平成30年後期・31年度地区事業計画

日 時	行 事 名	担 当
10月26日(金)	第2回連絡協議会	地区インターアクト委員会
11月24日(土)	2530地区 地区大会	
12月9日、10日(日、月)	国際理解研修会	いわき総合高等学校
6月4日(火)	リーダー研修会	仁愛高等学校
8月8日、9日(木、金)	年次大会	福島東稜高等学校
9月~11月の土、日	地区外研修会	学校法人福島高等学校

- ・地区大会では青少年会議を開催。福島成蹊高校からは生徒4名顧問1名出席。
- ・国際理解研修会計画と予算案発表。会場はグランパークホテルパネックスいわき。登録料10,000円(宿泊)駐車場確保なし。
- ・リーダー研修会案発表。会場は会津若松市(会津大学 or 会津稽古堂 or 文化センター)
19校×生徒6名 顧問 ロータリアン30名 合計140名予定。登録料1,000円
- ・年次大会計画と予算案発表。会場は福島県青少年会館。参加者130名設定。登録料7,000円(1泊4食の概算)
- ・地区外研修会計画と予算案発表。国際理解研修会ではなく、県外のIACを福島に招き被災地視察、復興や産業発展の起点地区視察。県内IACから2~3名出席で合計150名予定。登録料15,000円程度で検討。

4) その他 吉田会長より予算配分・使い方の見直しと速やかな連絡のお願いがありました。

— 今後のプログラム —

- ・11月21日(水)休会 成蹊高校第6回IAC例会
- ・11月28日(水)移動例会(風の谷)オーナースピーチ
会員スピーチ(関口富美男会員)
- ・12月5日(水)クラブフォーラム

— 11月14日(水)の例会プログラム —

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング
3. 四つのテスト唱和
4. 来訪者紹介と会長挨拶
5. 誕生祝い
6. スタリッパ BOX 報告
7. ゲストスピーカー紹介
8. ゲストスピーチ
9. 謝礼の贈呈
10. 各委員会報告
11. 閉会点鐘

— 地区情報・第一分区・関連情報 —

- ・11月11日(日)ロータリー財団補助金管理セミナー
- ・11月17日(土)~18日(日)日本学友会総会(東京海洋大学)
- ・11月18日(日)ロータリー財団地域セミナー

事務局: 〒960-8151 福島県福島市太平寺字過吹6-2サ・メイファイフ 1F2号室 TEL:024-546-3793 FAX:024-545-7878

HP: <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary> MAIL: f-southrotary2530@inaka.ne.jp

例会場: サンパレス福島 〒960-8101 福島県福島市上町4-30 TEL:024-523-3811(代) FAX:024-523-0375